

第3回 青嵐中学校 学校運営協議会 議事録

司会：今井 記録：事務局 西澤

開催日：令和6年10月18日 14時30分から15時30分まで

開催場所：青嵐中学校図書室

出席委員： 今井文男 西原みどり 有本唯 高田進 尾藤一朗 ギログリー江美
平林正男 湯浅泰美
(事務局) 佐久間豊 高柳正信 成田環 西澤大祐

議事

1. 校長挨拶 青嵐中学校校長 湯浅 泰美

- ①大きな行事（修学旅行・合唱コンクール・天神社のお祭り）が滞りなく終わることができた。感染症も広がることなく終了した。
- ②全国学力学習状況調査全国比で国語＋8ポイント、数学で＋6ポイントの好成績を出すことができた。OKJも継続してやっていきたい。

2. 学校より「本校の教育活動について」 青嵐中学校副校長 佐久間 豊

パワーポイントを使用して、本校の特色ある教育活動の報告。

- ①温かく活気あふれる学校づくりの一環として&TEAMのサプライズ訪問が行われた。極秘プロジェクトとして準備が進められ、当日は生徒の笑顔があふれた。
- ②基礎学力の定着への取り組みとしてOKJの授業展開を継続している。校内研修会では活発に議論が行われている。
- ③健康体力づくり。IJ学級の取り組みや本校の施設（プール）の紹介。運動会、体力テストの様子を紹介。
- ④健康安全教育としての避難訓練の様子を報告。不審者対応訓練も実施したが初期対応の難しさを学ぶことができた。さすまたを補充し、各フロアに設置している。
- ⑤環境整備として教室の床を清掃している。60周年に向けて、環境整備を進めていく。
- ⑥心の安定を図るために、スタートアップ面談を実施している。
- ⑦行事の取り組み。合唱コンクールの様子を紹介。
- ⑧豊かな心の育成。道徳授業地区公開講座では前教育長をお招きして、講演をしていただいた。
- ⑨CSの取組。マジックショーを開催した。小学生も参加し、楽しんでいる様子が見られた。平和学習として講演会を開催した。その他、職業講話、花いっぱい活動、わくわく自習室の様子を紹介。

3. コーディネーターより報告 西原みどりコーディネーター

- ①継続的に自習室を開催している。2～3割は友達と一緒に過ごすことを楽しんでいる様子が感じられる。スタッフと会話を楽しんでいる生徒も見られた。本日、居場所づくりとしてのブックカフェを開催する。
- ②避難所運営コンサートを実施する。危機管理室から能登の状況や西東京市の取組なども話してもらう。
- ③「ほくっと」まつりが行われる。青嵐中の生徒もボランティアで参加してくれている。
- ④栄小での授業コーディネートとして、「花壇での苗植え」授業を実施した。今後「西東京カルタ」大会を計画している。
- ⑤PTAの在り方もサポートしていきたい。楽しい企画を通して地域でつながりをもちながら、お互いに支え合える関係を作れるとよいと考えている。

4. 協議「これからの教育活動の充実について」

有本唯（警視庁巡査部長）

地域行事の見回りなど、教員ばかりに負担がいかないように、地域で支えられるように活動していきたい。

ギログリー江美（地域協力者）

子どもたちのために、たくさんの活動が考えられていることが理解できた。詰め込み過ぎにならないように、サポートできればよいと思う。PTAを含め、協力しながらやっていける体制になるとよいと思う。

尾藤一朗（同窓会幹事）

合唱コンなどの行事を通して、積極性が出てきたり、関心が広がったりしている様子が感じられた。保護者は感謝しているということをお伝えしたい。インターネットの使い方について。LINEグループは禁止になっているはずだが、他のSNSツールを使ってグループを形成しているようだ。どのように見守っていくのがよいか、保護者として思慮している。

今井文男（特任教授）

SNSの使い方については、学校の仕事ではないような気がするが、誰かが音頭をとらないといけない。それは学校になってしまうのか。保護者として使い方の指導が必要。学校と家庭で一緒に使い方を指導していく必要がある。

平林正男（都立保谷高校校長）

地域とのつながりの大切さを実感した。投票済証は保谷高校の生徒が書いた。修学旅行は台湾に行く。校名表示を張り替えた。制服については性自認に合ったものを購入したいという声もあるので、同様の問題が挙がるかもしれない。

高田進（保護司）

保谷駅前商店街の秋祭りが実施される。青嵐中の吹奏楽部が出演する。世間では犯罪行為（闇バイト等）が続いているので、安全に対する訓練が大切である。教員ばかりに負担がいきすぎないようにすることが大切だと感じる。

今井文男（特任教授）

教員は生徒のために楽しく活動しようと考え、時間の管理を忘れてしまう傾向がある。時間の管理を意識しながら取り組んでほしい。

成田環（青嵐中養護主幹教諭）

感染症の広がりは見られない。保健室での生徒の様子を報告。

高柳正信（青嵐中生活指導主幹教諭）

SNSの使い方について指導をしていく。グループラインについて継続指導していく。定時退勤など、健康に気をつけようと、職員室にも広げていきたい。また保護者の方にも日常的に学校生活の様子を見に来ていただきたい。良い部分や課題も見えてくるのではないかと考えている。

今井文男（特任教授）

いつでも来ていいよ、というスタンスでは保護者は来づらいかもしれない。期間を設定して見に来てもらうのがよいのではないかな。

西澤大祐（青嵐中教務主幹教諭）

来年度の行事予定を作成中。土曜授業を減らす、2学期のスタートなど、変更を考えている。ふるさと探究学習は継続するため、協力していただく場面があると思う。

5. その他

15時30分から「せいらんブックカフェ」を開催。

以 上